

スクラムとウォーターフォールの比較による考察

T. I

株式会社マイクロソフトウェア

要旨：

ウォーターフォール型開発(以後ウォーターフォール)には仕様変更によって後戻りが発生するというデメリットがある。それに強い開発手法としてアジャイルが存在し、2013年にそのフレームワークであるスクラム型アジャイル開発(以後スクラム)が提唱された。そこで、今後のプロジェクトにおいて適切な開発手法を選択するため、スクラムとウォーターフォールに対して、メリットとデメリットの比較を行った。その結果からどのようなプロジェクトがどちらの開発手法を使用するべきであることを考察した。これにより、プロジェクトの適切な開発手法選択の提案となる。

キーワード：

スクラム、ウォーターフォール

Abstract:

Waterfall development (hereafter referred to as “Waterfall”) has the disadvantage of causing setbacks due to specification changes. As a robust alternative, Agile methodology emerged, and in 2013, Scrum, a framework within Agile, was proposed. To select an appropriate development approach for future projects, we compared the merits and demerits of Scrum and Waterfall. Based on the results, we considered which type of project should utilize each development method. This analysis serves as a proposal for selecting the most suitable development approach for projects.

Keywords:

Scrum, Waterfall